



図書館だより



2025年
3月18日号

秋草学園高等学校 図書館

本年度も残りあとわずか、みなさん充実した学校生活を過ごしていますか。4月9日には「全国書店員が選んだいちばん！ 売りたい本 本屋大賞」の大賞作品が発表されます。図書館にはノミネート作品を取り揃えて展示してあります。春休みの長期貸出も始まっていますので、今のうちに読んでみて、大賞作品を予想してみませんか？

埼玉県の高校図書館司書が選んだイチオシ本

埼玉県の高校図書館に勤める司書たちの投票で選ばれるイチオシ本が発表されました。私たちの投票した本は1位ではありませんでしたが、おすすめの本ばかりです。

- 1位 『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』 かまど、みくのしん || 著 大和書房
- 2位 『地雷グリコ』 青崎 有吾 || 著 KADOKAWA
- 3位 『spring』 恩田 陸 || 著 筑摩書房
- 4位 『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈 || 著 新潮社
- 5位 『おしごとそうだんセンター』 ヨシタケ シンスケ || 著 集英社
- 6位 『死んだ山田と教室』 金子 玲介 || 著 講談社
- 7位 『君はどう生きるか』 鴻上 尚史 || 著 講談社
- 8位 『パレスチナのこと』 岡 真理、小山 哲、藤原 辰史 || 著 ミシマ社
- 9位 『けんごの小説紹介』 けんご || 著 KADOKAWA
- 10位 『夢も金もない高校生が知ると得する進路ガイド』 石渡 嶺司 || 著 星海社

019-か 『本を読んだことがない32歳がはじめて本を読む』 かまど、みくのしん || 著 大和書房

タイトル通り、みくのしんさんと、サポートのかまどさんの読書の様子が記されています。文章の区切りごとに、みくのしんさんの豊かな感想やツッコミが入り、彼らと一緒に楽しく面白く読書ができます。『変な家』で有名な雨穴さんの書き下ろし短編も読めます！

913.6-7 『地雷グリコ』 青崎 有吾 || 著 KADOKAWA



文化祭の人気出店場所を勝ち取るため、試合が行われる。決勝は「地雷グリコ」。階段で行われる普通のグリコに、踏んだら十段戻らなければならない罠（地雷）を設置します。高校生の頭脳・心理戦が繰り広げられます。

春を探す1冊

291-ル 『るるぶまちという埼玉』 JTBパブリッシング



埼玉県全市町村の名物や名スポットを紹介しているガイドブックで、四季の絶景特集が載っています。春休みのお出かけに、春を感じるスポットを探してみてください。3月の見頃として、越生町の梅林がピックアップされています！他にも気になる情報が満載です。

E-I 『春のうたがきこえる』 市川 里美 || 著 偕成社



かわいくてレトロな雰囲気の絵柄で描かれた季節と子どもたちを見ていると、春の暖かさが感じられるようです。絵本の世界に入って、一緒に春を探したくなる作品です。

新着コーナーの気になる本

913.6-ミ 『さくらのまち』 三秋 隼 || 著 実業之日本社



装着した腕輪により、国が国民の健康管理をしている世界のお話です。秘密裏に自殺のリスクも計測されており、ハイリスクとなると「サクラ」が手配され、自殺防止のため、友人として支えます。親友だと思っている相手はサクラかもしれない……。主人公はかつて自分を欺いた女子が自殺したという連絡を受け、真相を知るための調査を始めます。

902-ケ 『けんごの小説紹介』 けんご || 著 KADOKAWA



小説紹介クリエイターのけんごさんにより、88冊の本がわかりやすく魅力的に紹介されています。けんごさんは東野圭吾さんの『白夜行』を読んで読書の沼にハマったそうです。この本の中からでも、それ以外でも、みなさんが沼に引きずり込まれるような読書体験ができると嬉しいです。

☐ 今月はこの本読みました



先月掲載した『人魚が逃げた』がとても好きなお話だったので、同じく青山美智子さんの『猫のお告げは樹の下で』913.6-7（宝島社）を読みました。神社に現れるハチワレ猫から、タラヨウの葉に書かれたお告げを受け取った7人のお話です。5月の図書館だよりで掲載した『お探し物は図書室まで』に登場するあの人たちの過去の姿が見られます！どちらを先に読んで大丈夫です。青山さんの作品は世界が繋がっていて、作品を跨いで再登場する人もいます。登場人物それぞれに人生があり、時の流れを感じられて、感慨深いです。こんな社会で暮らしたいと思うような、温かい世界が広がっています。立ち止まった時、青山作品を読んでみるのも良いかもしれません。

わたくしごとですが今回が最後の図書館だより執筆となりました。一年間ありがとうございました ☺ ♡ 【吉村】